

第2週の発生動向(2008/1/7~2008/1/13)

1. インフルエンザについては、[インフルエンザ情報](#)に掲載しています。
2. 咽頭結膜熱については、東地方+青森市保健所管内においては第45週から、むつ保健所管内において第48週から**警報**が続いています。
3. 感染性胃腸炎については、むつ保健所管内において、新たに**警報**が出されました。

第2週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数					
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	インフルエンザ (小児科+内科+小児科)	小児科	内科	眼科
(85) インフルエンザ	64	4.92	62	4.13	118	8.43	42	6.00	222	24.67	76	12.67	584	9.13	86	5	2.50	59	5.36						
(74) RSウイルス感染症	3	0.38	6	0.67	5	0.56			3	0.50			17	0.41	5			3	0.43						
(75) 咽頭結膜熱	11	1.38	3	0.33	1	0.11			2	0.33	6	1.50	23	0.56	11	1	1.00	10	1.43						
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.63	10	1.11	2	0.22	2	0.40	3	0.50	1	0.25	23	0.56	5			5	0.71						
(77) 感染性胃腸炎	126	15.75	38	4.22	13	1.44	18	3.60	39	6.50	88	22.00	322	7.85	165	35	35.00	91	13.00						
(78) 水痘	9	1.13	12	1.33	21	2.33	10	2.00	8	1.33	11	2.75	71	1.73	8			9	1.29						
(79) 手足口病			1	0.11			1	0.20	3	0.50	1	0.25	6	0.15	0										
(80) 伝染性紅斑					8	0.89			3	0.50			11	0.27	7										
(81) 突発性発しん	2	0.25	3	0.33	1	0.11			2	0.33	2	0.50	10	0.24	-1			2	0.29						
(82) 百日咳	1	0.13											1	0.02	1			1	0.14						
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。															0									
(83) ヘルパンギーナ	1	0.13											1	0.02	1			1	0.14						
(73) 麻疹	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。															0									
(84) 流行性耳下腺炎			1	0.11	4	0.44			1	0.17			6	0.15	3										
(86) 急性出血性結膜炎															0										
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50			1	0.50			3	1.50			5	0.45	-1			1	0.50						
(95) マイコプラズマ肺炎					5	5.00							5	0.83	2										

■ は警報

■ は注意報

「空欄」: 患者発生数 0

表 以外の感染症法対象疾患 (注:結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前2人、八戸1人、五所川原2人 (20年計: 6人)
(73) 麻疹(五類全数把握疾患): 弘前6人 (20年計: 6人)

感染症の窓

全数把握疾患 (2007年:青森県)

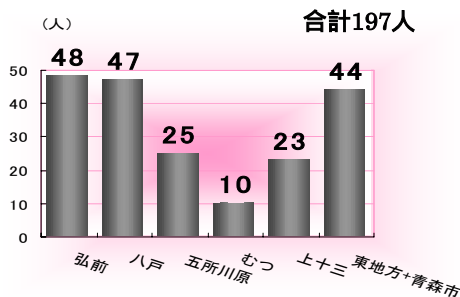


図1 結核 (青森県 4/1-12/31)

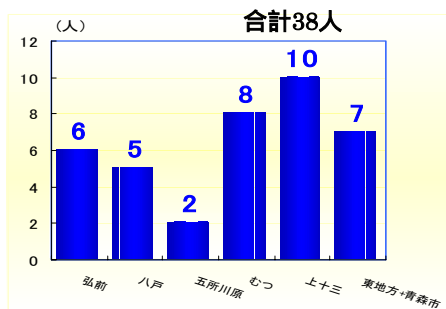


図2 腸管出血性大腸菌感染症 (2007年)

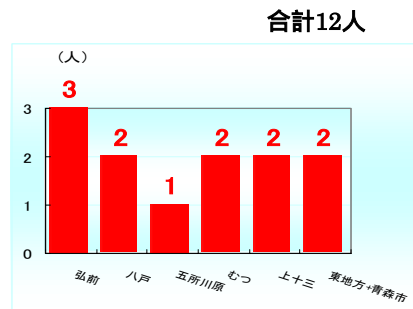


図3 つつが虫病 (2007年)

表1 2007年全数把握疾患 (累計10人未満)

	弘前	八戸	五所川原	むつ	上十三	東地方+青森市
コレラ		1				
細菌性赤痢		1	1			
A型肝炎		1	1			
オウム病			2			
日本紅斑熱			1			
レジオネラ症			1			
アメーバ赤痢		1				
ウイルス性肝炎		1				
急性脳炎		2				
クロイツフェルト・ヤコブ病						1
後天性免疫不全症候群		1	2			1
梅毒		2	1			
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2		1		

・結核: 2007年4月から全数対象になった本疾患は、東地方+青森市、弘前、八戸保健所管内において40人以上の届出数があり、全体の7割を占めた(図1)。
・腸管出血性大腸菌感染症: 2006年(53人)に比べ38人に減少した(図2)。
・つつが虫病: 合計は12人(2006年: 18人)で、保健所管内別では1人から3人の届出数であり、地域的な流行は見られなかった(図3)。